

谷川岳山行報告

【山行日】2019年 8月12日(月) 曇り後晴れ

【集 合】岩舟支所 AM 5:00

【費 用】マイカー2台 : 5,300円

【メンバー】CL:大西 SL鈴木、安西、伊藤、関、
鶴見、福島、福田、渡辺

【コースタイム】岩舟支所 5:00＝谷川岳P6:35→
RW駅 7:00≠天神平 7:15/7:25→熊穴沢小屋
10:20/10:30→肩の小屋 10:05/10:15→トマノ耳
10:25→オキノ耳→肩の小屋 11:40/12:10→
熊穴沢小屋 13:45→天神平 14:40≠RW駅→
谷川岳P15:15＝岩舟支所 17:40



山に向かう時の心配は雨ですが、そこは心配ないが暑い盛りの山歩き暑さが思いやられます。順調に着いたが早いので手前の無料駐車場に案内され、少々手間取ったが準備をしてロープウェイ



駅に向かいます。今回は標高750mから一気に1300mまで、550mを10分で稼ぎました。

ロープウェイに乗り込んで残念なことに展望がありません。！幸い？なのか、ガスが立ち込めパノラマの楽しみは帰りに持ち越しとなってしまいました。

天神平駅でいつもの様にトイレを済ませ、ストレッチを済ませてからゆっくり歩きだしました。ガスが立ち込めて、何も見えない登山道を歩く

のはチョッピリ寂しいものでした。

家族連れや若い人達と会話を交わしながら、徐々に高度をあげて行きます。

天神峠からの道と合わさるまでは、トラバースコースの歩きなので比較的歩きやすく感じます。

第一目標の「熊穴沢避難小屋」に予定通り到着し休憩を取ります。

ここからは「肩の小屋」を目指し、樹林帯の尾根道を歩き、徐々に勾配がきつくなりロープや鎖が気持ちを引き締めてくれます。しかし一向にガスが消えず、地図で現在地を確認しながら登ります。

大きな岩が見えて「天狗の溜まり場」を確認して、次の「天神ザンゲ岩」を目標にします。

ここに着くと、もう一踏ん張りとし余裕が出てきました。



しかしあと少しと思いながらも、展望が効かないので辛い登りとなりました。

肩の広場手前で、女性陣は先に登ってトイレを先に済ませよう頼みます。



階段がありジグザグ登ってやっと「肩の小屋」を確認出来、小屋に着いたらホッとして休憩をとります。Sさんがプリンを持ってきてくれ、私は空いたお腹に美味しくいただきました。水を飲み一息入れていよいよ山頂に向かいますが、少しガスが消えて眺望が得られるようになってきました。まずは手前の山頂「トマノ耳」に登り、全員で記念写真を撮りました。その後「オキノ耳」に向かいますが、ガスが晴れると今立っている位置がヤセ尾根の切れている部分であると解り慎重に進みます。

シモツケソウやヨツバシオガマ、ウツボグサ等が咲き、疲れた体を癒してくれます。

身軽な人達と若い人達は、走るようにオキノ耳を目指して行きます。登り優先も難しい場合があり、つまづかない様安全第一に登って行きます。オキノ耳に着き、全員で記念写真を撮ります。

ここからの展望は素晴らしいですが、残念ながら遠くの山並みはガスで確認できませんでした

時折ガスが晴れ周りの景色が見えますが、直ぐに見えなくなるので肩の小屋に向かって下ります。

小屋の前のベンチを確保して昼食の準備をしますが、風が強く中々雑煮が温まらなくて苦労します。

真夏にお雑煮はどうかと思いましたが、とても美味しくいただきました。トマト・マスカット・きゅうりの漬物・梅干し等々、皆さんのおもてなしの心が暑さを和らげて幸せな気分になりました。

『ごちそうさまでした』 お腹が満たされたら、登って来た道を下ります。

石がゴロゴロしている場所は滑らない様注意して下りましょう。

下りは二班に別れて下り、私達一斑は4人で慎重に下ってゆきます。



二班の5名は途中「天神ザンゲ岩」や「天狗の溜まり場」に登りながら「熊穴沢避難小屋」に到着し、私達と合流して美味しいパイナップルを頂きました。

天神平駅までは木の階段のトラバース道で、朝は見えなかった西黒尾根から山頂の眺望が得られ皆さんが満足したようです。天神平では、白毛門・笠ヶ岳・朝日岳の三山が微笑んでくれました。

山で展望があり登った山や、これから登りたい山が見える事は最高のご褒美ですね。

皆さん暑い中お疲れ様でした。

また、機会がありましたら登りましょう！

大西 記